

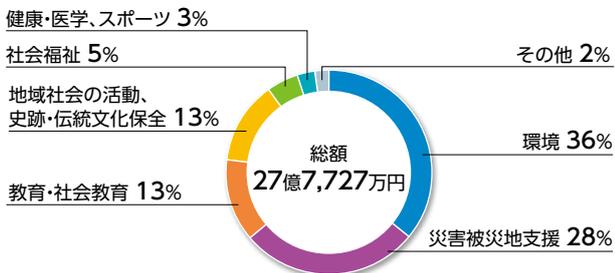


地域社会との共生

自治体や各団体と連携した社会貢献

セブン&アイグループは「事業を通じて地域の発展や豊かな生活環境づくりに貢献する」という方針のもと、自治体との「地域活性化包括連携協定」の締結(2012年8月末時点の締結数は42自治体)や、各団体と連携した活動を推進しています。

社会貢献活動費の内訳(2011年度)



※ セブン&アイHLDGS.、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカドー、ヨークベニマル、そごう・西武、セブン&アイ・フードシステムズ、セブン銀行、ヨークマート、赤ちゃん本舗の合計額。計算方法は(社)日本経済団体連合会「2011年度社会貢献活動実績調査実施要領」に準拠。

商品を通じた取り組み

お客様が環境保全や社会貢献などの活動に参加できる商品の取扱いやキャンペーンを実施しています。

イトーヨーカドー

飲料メーカーとの共同により、収益の一部が国際人道支援に取り組む団体に寄付される自動販売機を設置(2012年7月末現在78店舗377台)。2000年に開始し、これまでに3,770万円を寄付しました。その他にも、売上げの一部が寄付につながる商品を販売しています。



売上げの一部が佐渡市トキ環境整備基金と豊岡市コウノトリ基金に寄付されるお米

売上げの一部がユニセフに寄付されるメッセージカード

セブン&アイグループ

国産米粉を使ったセブンプレミアムの商品を各種販売しています。食料自給率向上をめざす「フード・アクション・ニッポン」の取り組みの一つである「米粉倶楽部」と連携し、そのロゴをパッケージに付けることで、米粉の認知度向上と消費拡大に協力しています。



米粉を使った菓子

そごう・西武 Robinsons

第三者機関の審査のもと、独自に設けた基準を満たす環境配慮型商品96品目(2012年2月末現在)を販売しています。このほか、社会貢献型包装の「グリーンラッピング」を提案。リーフマスコット付きリボンを100円(税込)で購入いただき、1件につき50円を植樹・育樹活動に寄付する仕組みです。また、お中元・お歳暮ギフトでは「簡易包装」への協力をお願いし、4,000件で1本の植樹につなげています。



特徴を示すPOPをつけてお客様に提案



グリーンラッピング

セブン銀行

2011年7月から、口座開設時に希望されたお客様に対して、セブン銀行が協賛している読み聞かせ絵本の主人公をデザインした「ボノロンキャッシュカード」を発行しています。このカード1枚の発行につき100円をセブン銀行から拠出して特別編集絵本を制作。2012年5月に全国の約3,000カ所の児童館に寄贈しました。



ボノロンキャッシュカード

店舗を活かした取り組み

多くの方が集まるという店舗の特性を活かして、各事業会社が募金箱や臓器提供意思表示カードスタンドの設置、イベントの開催などを実施しています。

イトーヨーカドー

「地球にやさしく・人にやさしく」をテーマとした「エコ&ユニバーサルデザイン」コーナーを6店舗(2012年2月末現在)に開設。省エネルギー・リサイクル・再使用・自然エネルギーに関するイトーヨーカドーの取り組みを、パネルや映像などでお客様にわかりやすく紹介しています。



そごう・西武 Robinsons

盲導犬育成のための募金や啓発イベントを開催しています。2011年度は従業員募金・労使基金を含め34,709,964円を寄付しました。



また、全店舗に「こども靴の下取りコーナー」を設置し、お客様からお預かりした靴を、国際協力NGOジョイセフを通じてザンビア共和国に寄贈しています。2011年度は約24,000点を寄贈しました。裸足の子



どもが足の怪我が原因で破傷風や寄生虫病にかかることを防ぐために役立てられます。

TOPICS

東日本大震災からの復興支援

● セブン&アイ・フードシステムズ

2011年4月から11月まで、募金付きメニューを販売しました。対象メニューを一品ご注文いただくごとに、セブン&アイ・フードシステムズが20円を拠出^{*}。拠出総額708万1,320円を、日本赤十字社を通じて東日本大震災の被災地の皆様へお届けしました。

^{*} 4月15日～5月15日は、お客様も20円の拠出に参加できるようにしました。

● ヨークベニマル

福島県の要請を受けて、被災自治体などからの情報提供や巡回相談、住民同士の交流の場となる「ふるさと絆情報ステーション」を県内の7店舗に設置しました。

また、東北地域で高校卒業者への求人数が大幅に減少したことを受け、特に求人数が減った福島県内の高校からの採用枠を拡大し、2011年8月に追加募集して採用しました。

● そごう・西武

そごう横浜店では、総務省の実証実験に協力し、世界初となるCO₂排出権付きのバレンタインメッセージカードを販売。被災地域の岩手県内から販売されたCO₂排出権を10キログラムごとに小口化してカードに割り当て、100円で販売しました。お客様にご購入いただいたCO₂排出権は、復興支援団体の活動によって排出されるCO₂削減に利用できるようにすることで、復興支援と環境貢献を両立しました。

また、福島県飯館村の方々を支援するため、仮設住宅へ避難している同村の女性たちが古着をリメイクした衣類や服飾小物の販売会を、2012年3月、2日間にわた



飯館村の商品販売会

てそごう柏店で開催。販売場所の提供だけでなく、デザインアドバイス、宣伝、販売協力を行いました。